

# 南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

## 2026 第14週 (令和8年3月30日～令和8年4月5日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）  
 TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

加世田管内の感染性胃腸炎及び指宿管内の伝染性紅斑が警報収束基準値を下回ったため、流行発生警報を解除します。また、指宿管内の水痘が注意報基準値に達したため、流行発生注意報を発令します。  
 第14週における麻しんの報告数は2例（いずれも鹿児島市）でした。高熱や発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状が見られた場合には、事前に医療機関へ相談の上、速やかに受診するようにしてください。

### 1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	9週	10週	11週	12週	13週	14週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	-	-	-	加世田	62.50	50.00	40.50	40.50	51.50	40.50
				指宿	52.50	33.00	27.00	20.00	30.00	15.00(↘)
				県	58.60	51.33	50.72	51.46	47.32	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	45.00	15.50	4.00	6.00	5.50	5.00
				指宿	30.00	19.00	8.00	5.50	3.00	0.50
				県	24.02	10.32	6.70	6.00	3.86	1.68
COVID-19	-	-	-	加世田	0.50	-	-	3.50	-	0.50
				指宿	-	-	-	-	1.00	0.50
				県	0.21	0.35	0.18	0.32	0.18	0.26
RSウイルス感染症	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	2.00
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.61	1.00	0.94	0.94	0.84	1.06
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.94	1.06	1.00	1.00	1.48	0.81
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	加世田	-	-	-	-	1.00	2.00
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	1.84	2.19	3.19	2.94	3.06	2.03
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	加世田	5.00	25.00	21.00	20.00	19.00	6.00(↘)
				指宿	5.00	8.00	2.00	7.00	7.00	13.00(↗)
				県	7.42	7.03	6.10	8.32	6.48	5.03
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	1.00	-	-	-	-	1.00(↗)
				県	0.32	0.06	0.19	0.32	0.61	0.19
手足口病	5.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.03	0.03	-	0.03	-	0.06
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	加世田	1.00	1.00	-	-	-	-
				指宿	1.00	-	-	-	2.00	-
				県	0.55	0.39	0.55	0.19	0.32	0.23
突発性発しん	-	-	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	1.00	1.00	-
				県	0.23	0.26	0.29	0.32	0.23	0.26
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	-	-	-	0.03	0.03
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	-	0.03	-	-	-	0.03

※鹿児島県の ARI 報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

**警報** 流行発生警報の基準値を超えた疾患

**注意報** 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

◎警報発令中

○注意報発令中

加世田保健所  
指宿保健所

(なし)  
(なし)

(なし)  
(水痘)

### 2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第14週 (3月30日～4月5日)	なし
----------------------	----

### 3 南薩地域で注目すべき感染症

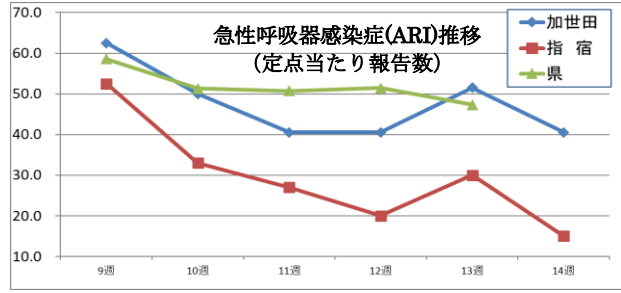
※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

#### 急性呼吸器感染症 (ARI)

第 14 週の報告数は、加世田保健所管内で 81 人 (定点当たり 40.50) でした。

指宿保健所管内では、30 人 (定点当たり 15.00) でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1~4 歳 (50 人)、5~9 歳 (26 人)、0 歳及び 10~14 歳 (8 人) の順に多く報告されています。

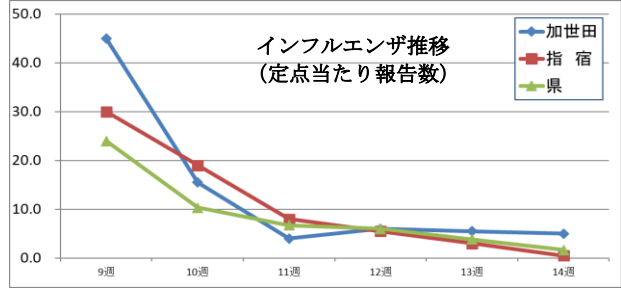


#### インフルエンザ

第 14 週の報告数は、加世田保健所管内で 10 人 (定点当たり 5.00) でした。

指宿保健所管内では、1 人 (定点当たり 0.50) でした。

県全体では、96 人 (定点当たり 1.68) でした。

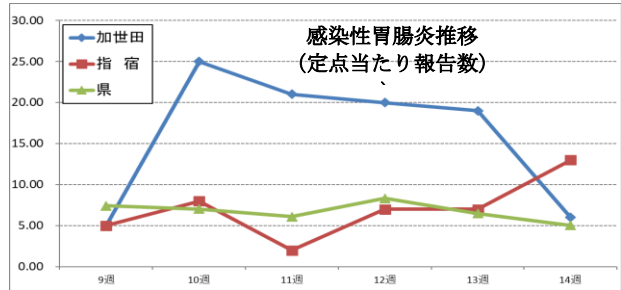


#### 感染性胃腸炎

第 14 週の報告数は、加世田保健所管内で 6 人 (定点当たり 6.00) でした。

指宿保健所管内では、13 人 (定点当たり 13.00) でした。

県全体では、156 人 (定点当たり 5.03) でした。



### 今週の話題

### 【前編】水痘 (すいとう) にご注意ください。

今年に入り、全国の水痘における報告数が過去5年と比較して多い状況となっています (図1)。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘・帯状疱疹ウイルス (VZV) によって引き起こされる、かゆみを伴う発しんが全身に出現する感染症です。

水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。

#### ○ 感染経路及び潜伏期間

空気感染、飛沫感染、接触感染により拡がり、その潜伏期間は感染から2週間程度と言われています。

#### ○ 主な症状

発疹の出現する前から発熱を認め、典型的な症例では、発疹は紅斑 (皮膚の表面が赤くなること) から始まり、水疱、膿疱 (粘度のある液体が含まれる水疱) を経て痂皮化 (かさぶたになること) して治癒するとされています。

治療方法や予防と対策については次週掲載いたします。

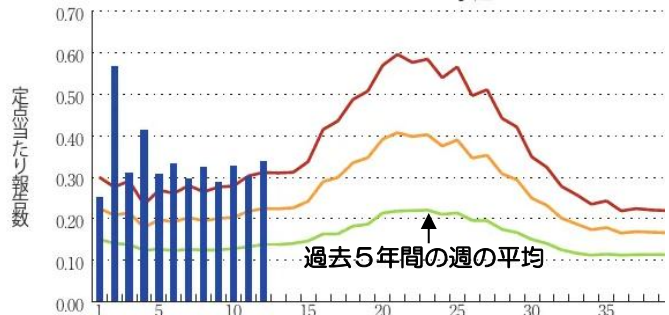


図1. 水痘の過去5年間との週別比較 (2026年第12週)  
青の棒グラフで示す本年の定点当たり報告数が、過去5年間の週の平均と比較してかなり多い状況です。

— 本年の数値 — 過去5年間\*の平均+1SD  
— 過去5年間\*の平均+2SD — 過去5年間\*の平均

\*過去5年間: 前週、当該週、後週の報告数の5年間分、合計15週間分

▼写真1: 体幹部に出現した水疱・膿疱

▼写真2: 痂皮化 (かさぶた) した発しん



参考: 【感染症エクспレス@厚労省】VOL.556(2026年4月3日)、水痘 | 厚生労働省